

科目名	キリスト教学Ⅰ	必修選択	必修
		授業形態	講義
担当教員	アンネリーゼ・デーケン 御子神隆也	単位数	2
		開講時期	1年次後期
		開講学科	全学
目 標	キリスト教思想に基づく人間の生と死の理解を学ぶことを通して、人生の意義や人間の尊厳について考え、人間らしく豊かに生きるための指針を探る。		
内 容	毎回定められたテーマ（下記「計画」参照）について講義を行い、いくつかのテーマについて小論文を作成、提出させる。		
履 修 上 の 注 意	特になし。		
授 業 計 画			
1.	今を生きる		
2.	私は誰か		
3.	生きがい・人生の意義について		
4.	宗教とは何か—宗教が人間社会に果たす役割、宗教と科学との関係		
5.	ユダヤ教・キリスト教の成立／聖書という書物		
6.	キリスト教の自然観・世界観—創世記1、2章から		
7.	人間の「罪」について—創世記3章から		
8.	イエスの登場と時代背景		
9.	イエス・キリストの言葉と行い(1)		
10.	イエス・キリストの言葉と行い(2)		
11.	イエス・キリストの言葉と行い(3)		
12.	イエス・キリストの言葉と行い(4)		
13.	「十字架」とその意味		
14.	苦しみについての問い—人はなぜ苦しまなければならないのか		
15.	総括		
テキスト	『聖書—新共同訳・旧約聖書続編付き』（日本聖書協会） アルフォンス・デーケン著『キリスト教と私』（聖母の騎士社） 石川康輔編『きょうの祈り』（ドン・ボスコ社）		
指定図書	なし。		
評価基準	①試験・小論文（70%） ②授業出席（30%）		

科目名	哲学B	必修選択	選択
		授業形態	講義
担当教員	御子神隆也	単位数	2
		開講時期	1年次後期
		開講学科	全学
目 標	人間として正しく善く生きること（倫理）について探究するための基礎的な知識を学び、人間らしく豊かに生きるために自ら考える姿勢を身につける。		
内 容	倫理学概論。倫理学における主要なテーマ（下記「授業計画」参照）を取り上げ、それについて講義、質疑応答を行う。		
履 修 上 の 注 意	レポート作成に役立てるために、講義内容に関連する5冊程度の本を読むことが求められる。		
授 業 計 画			
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 正しく生きることの意味—倫理とは何か 2. 善悪の基準に関する諸説(1) 3. 善悪の基準に関する諸説(2) 4. 自然道徳律—倫理の成立根拠に関する考察 5. カントの人間観と道徳哲学 6. シューラーの価値人格主義 7. 良心に関する考察(1) 映画「Scent of a Woman」の観賞1 8. 良心に関する考察(2) 映画「Scent of a Woman」の観賞2 9. 良心に関する考察(3) 討論—良心を育てるために 10. 生命倫理(1)—概論：生命の尊厳とは何か 11. 生命倫理(2)—初期の生命をめぐる問題（出生前診断と優生思想） 12. 生命倫理(3)—終末期の生命をめぐる問題（尊厳死、安楽死） 13. 性をめぐる倫理—人間にとっての性、生殖/出産に関する権利 14. 結婚をめぐる問題—結婚/育児と倫理 15. 総括・レポート作成指導 		
テキスト	なし（テーマごとに講義レジュメ、教材プリントを配布する）。		
指定図書	なし。		
評価基準	①授業出席（30%） ②レポート（70%）		